

第1回 タウンミーティング

JR芦屋駅南地区第二種市街地再開発事業

事業経緯

P1

整備方針

P2

事業区域

P4

整備概要

P5

JR芦屋駅駅舎改良

P29

参考資料

P32

事業経緯

年	月	内容
昭和21年		都市計画決定（駅前線・交通広場）
平成5年		JR芦屋駅南地区のまちづくりの検討開始
平成13年		まちづくり事業延期
平成23年	4月	JR芦屋駅南地区のまちづくりの検討再開
平成28年	12月	まちづくり基本計画策定
平成29年	3月	都市計画決定（市街地再開発事業等）
平成30年	5月	事業計画決定



整備方針

駅周辺の交通課題等を解消し、市の南玄関口としてのまちづくりを目指します。



都市計画道路整備状況図



送迎の車などで混み合う駅前



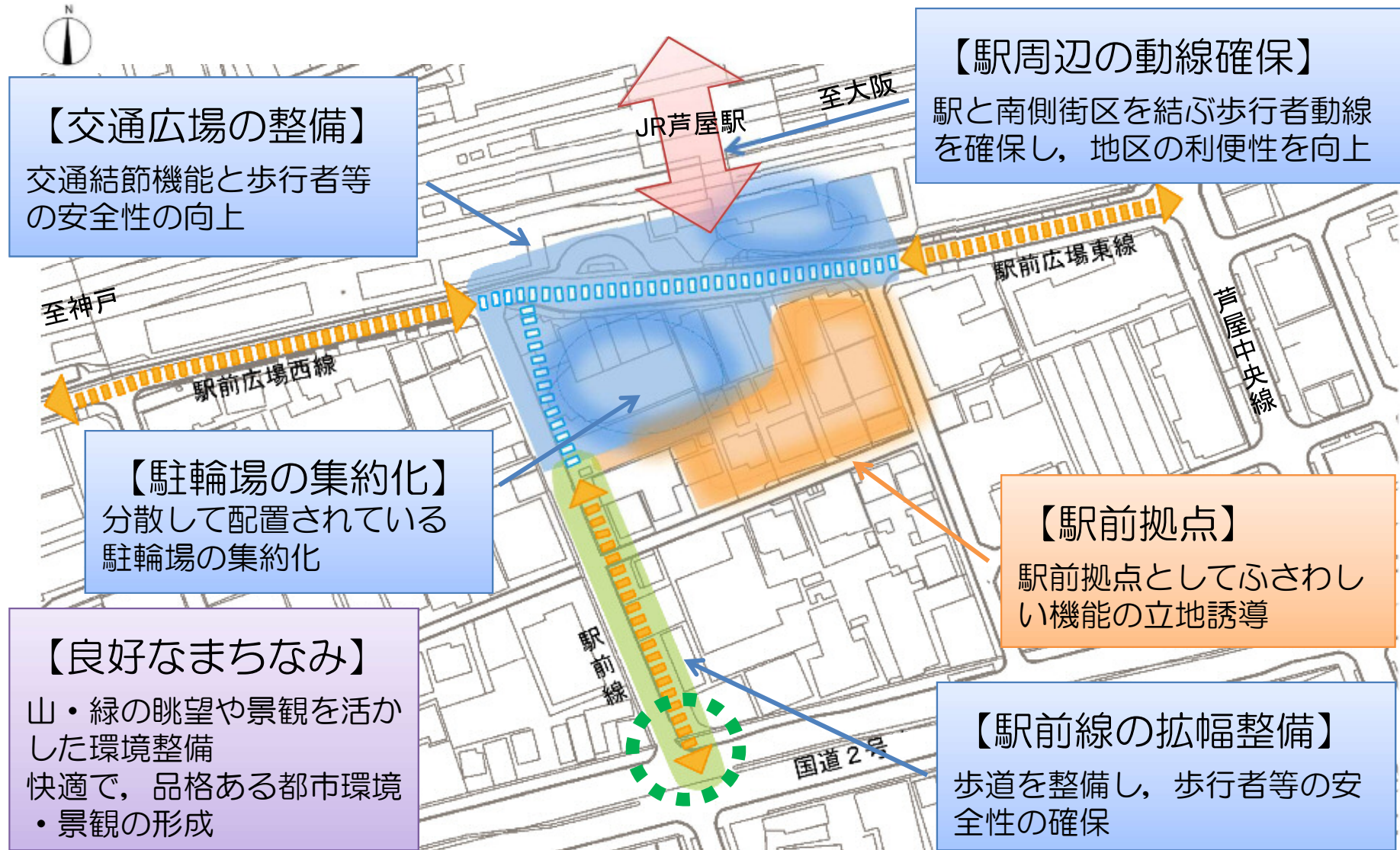
歩道のない駅前線

交通広場・駅前線が未整備

利用しにくい、または危険性があるなど、歩行者・車両の交通環境に課題があります。

整備方針

地区整備の方針



事業区域



区域面積

約 1.1 ha

施行地区

芦屋市業平町，上宮川町，
船戸町，大原町の各一部

整備概要

再開発事業

公共施設

- 交通広場の整備
- 駅前線の拡幅

再開発ビル

- 再開発ビル（住宅・商業）
- 公益施設

関連事業

公共施設

- 自転車駐車場
- ペDESTリアンデッキ

JR 芦屋駅

駅舎改良

- 駅舎リニューアル
- エスカレーター・エレベーター設置

再開発事業の概要

平成30年5月30日に市街地再開発事業の事業計画を決定しました。

名 称	阪神間都市計画事業（芦屋国際文化住宅都市建設事業） JR芦屋駅南地区第二種市街地再開発事業
施 行 者	芦屋市
施行地区	芦屋市業平町，上宮川町，船戸町，大原町の各一部
区域面積	約1.1ha
建 築 物	住宅・商業施設・公益施設・駐車場からなる 地下1階，地上12階の再開発ビル
公共施設	駅前線（幅員15m），交通広場（面積約6,100㎡）， 他区画道路
施行期間	平成30年5月30日から 平成35年（令和5年）3月31日まで
事業費	約130億円

※ 上記は，現在，決定している事業計画の概要です。

全体平面図



整備イメージ図



JR芦屋駅側から南側の交通広場や再開発ビルを鳥瞰したイメージ図。
ペDESTリアンデッキについては検討中のため書き表していません。

交通広場

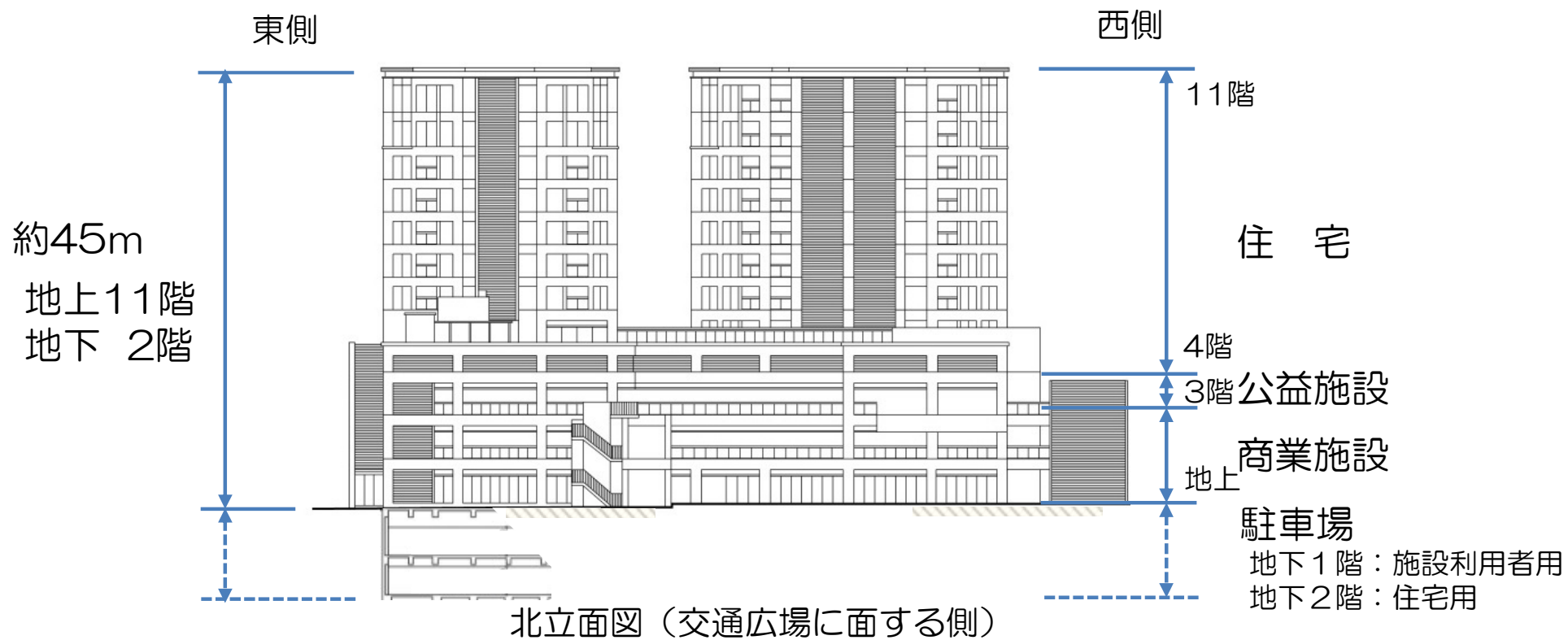
JR芦屋駅南・北交通広場配置図



交通広場



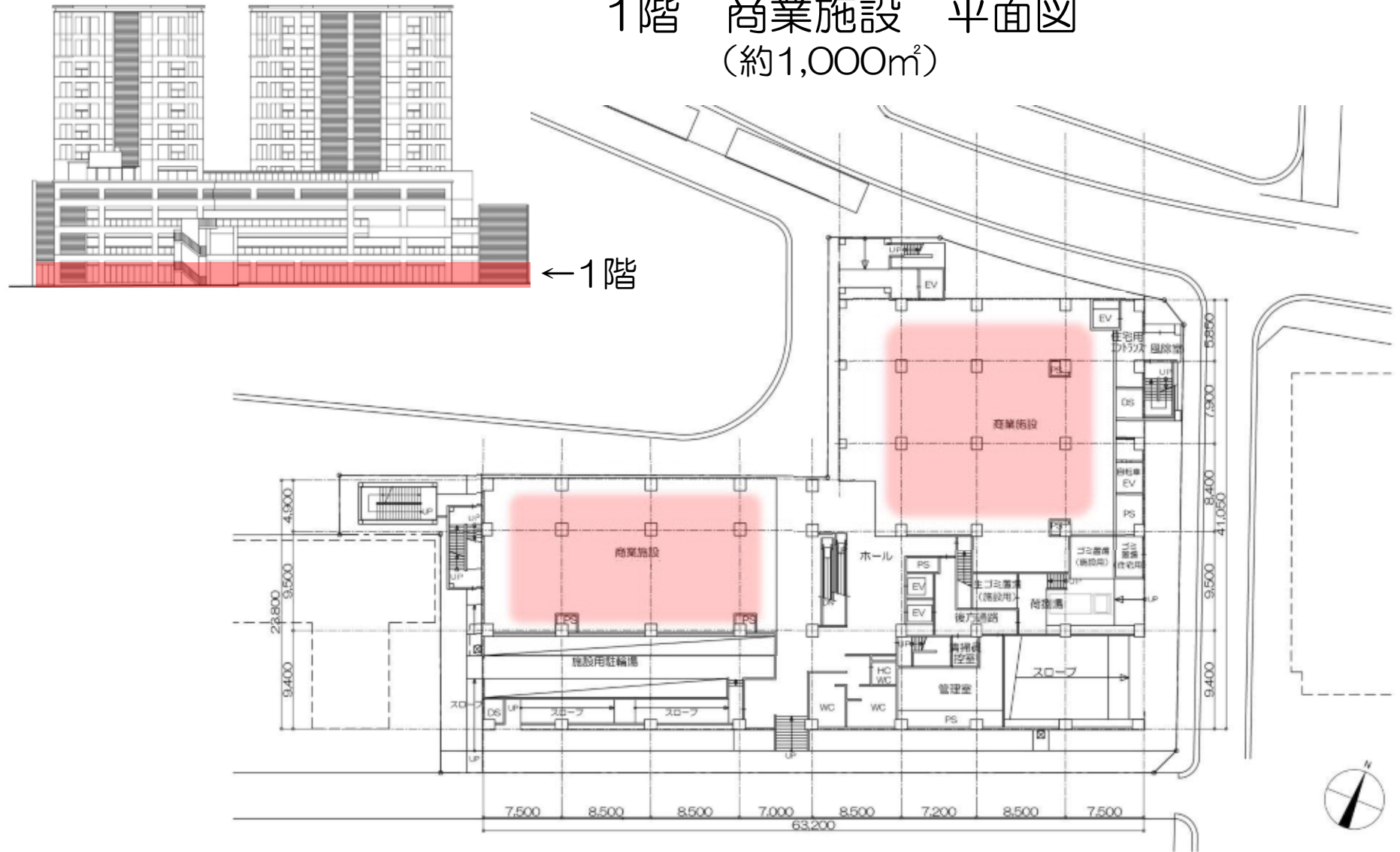
再開発ビル



敷地面積	約2,700㎡		
建ぺい率/容積率	約80% / 約400%	4階～11階	住宅 (約50戸)
構造	鉄筋コンクリート造	3階	公益施設
階数	地上11階・地下2階	1・2階	商業施設
高さ	約45m	地下1・2階	駐車場

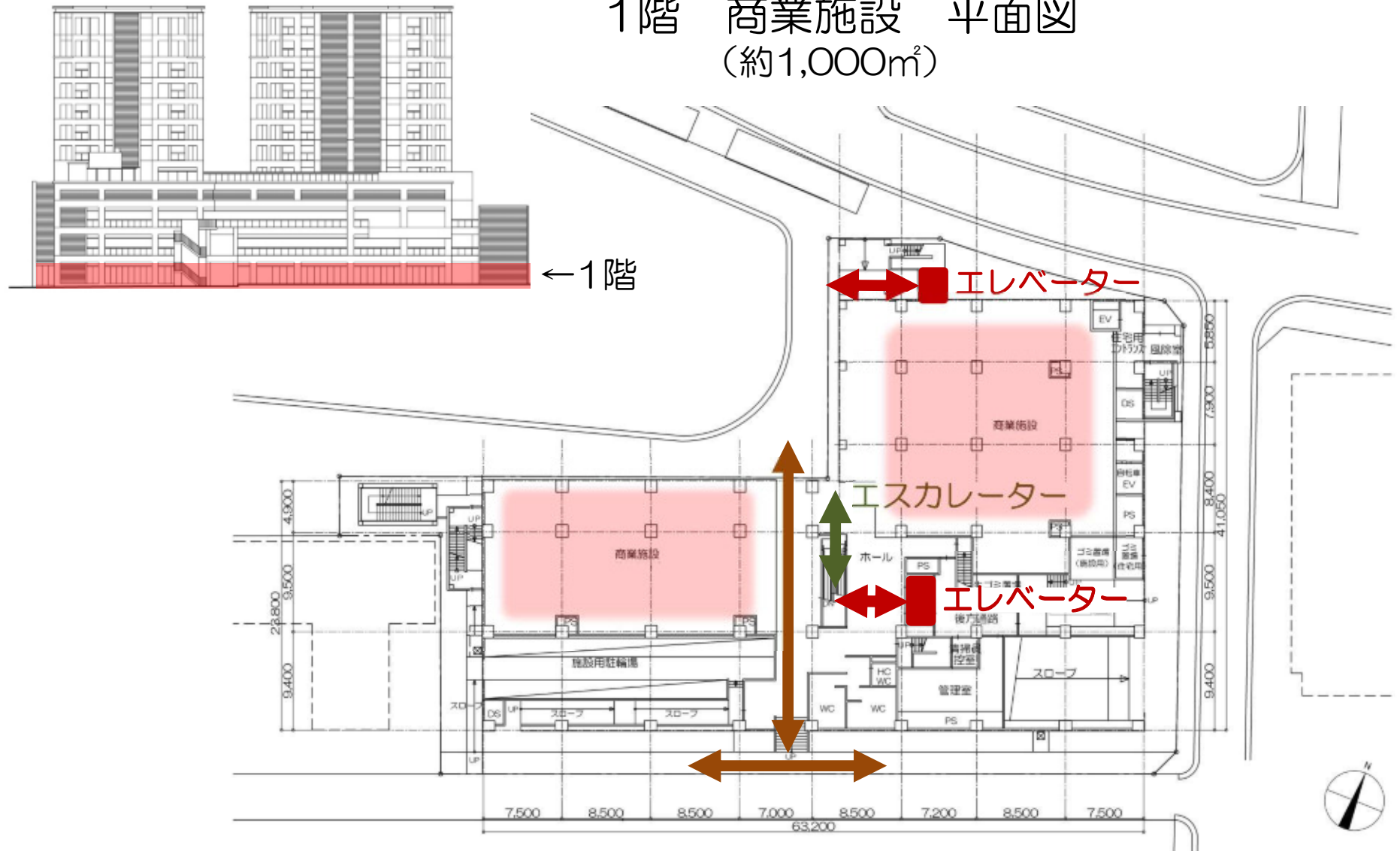
再開発ビル

1階 商業施設 平面図
(約1,000㎡)



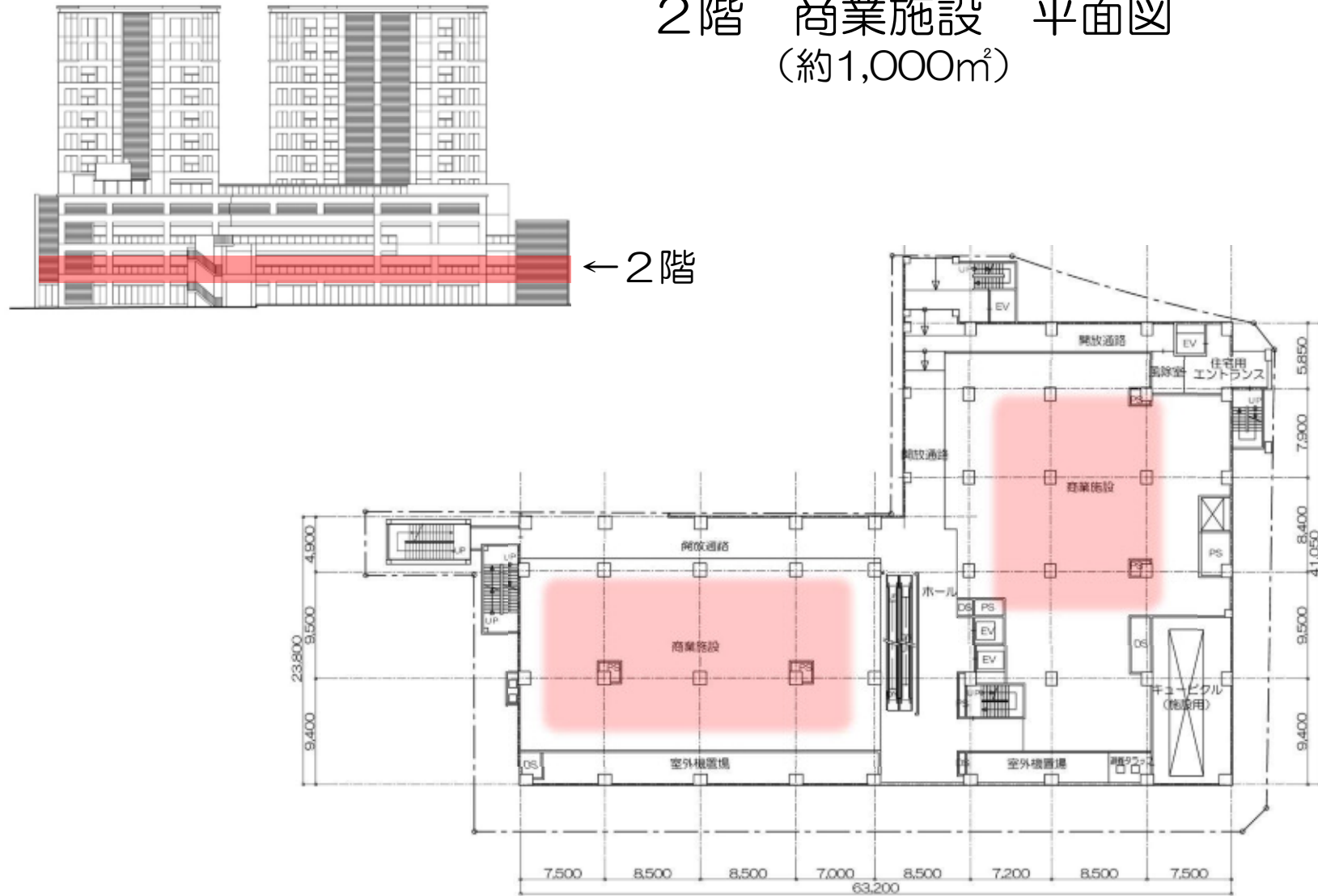
再 開 発 ビ ル

1階 商業施設 平面図 (約1,000㎡)



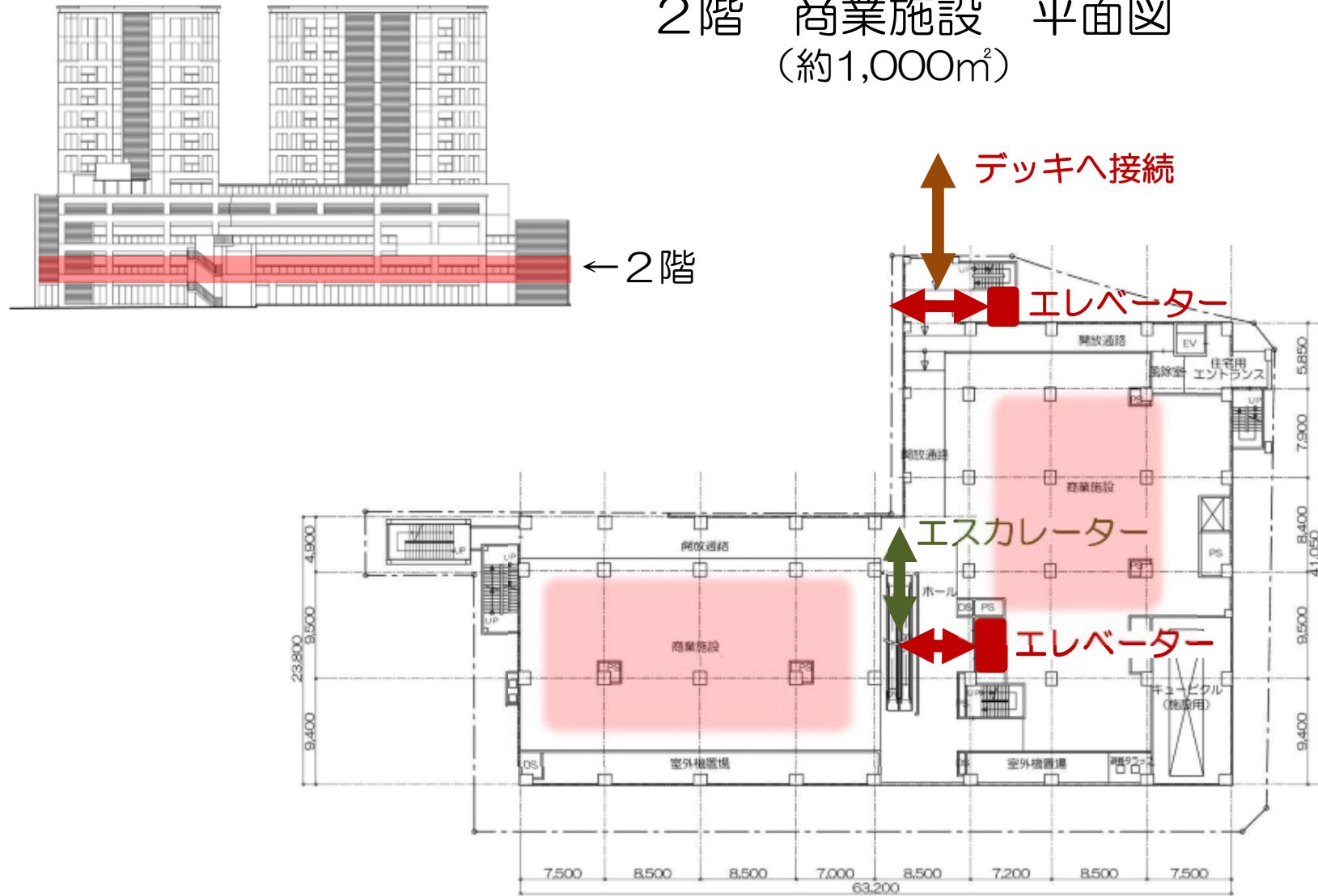
再 開 発 ビ ル

2階 商業施設 平面図 (約1,000㎡)



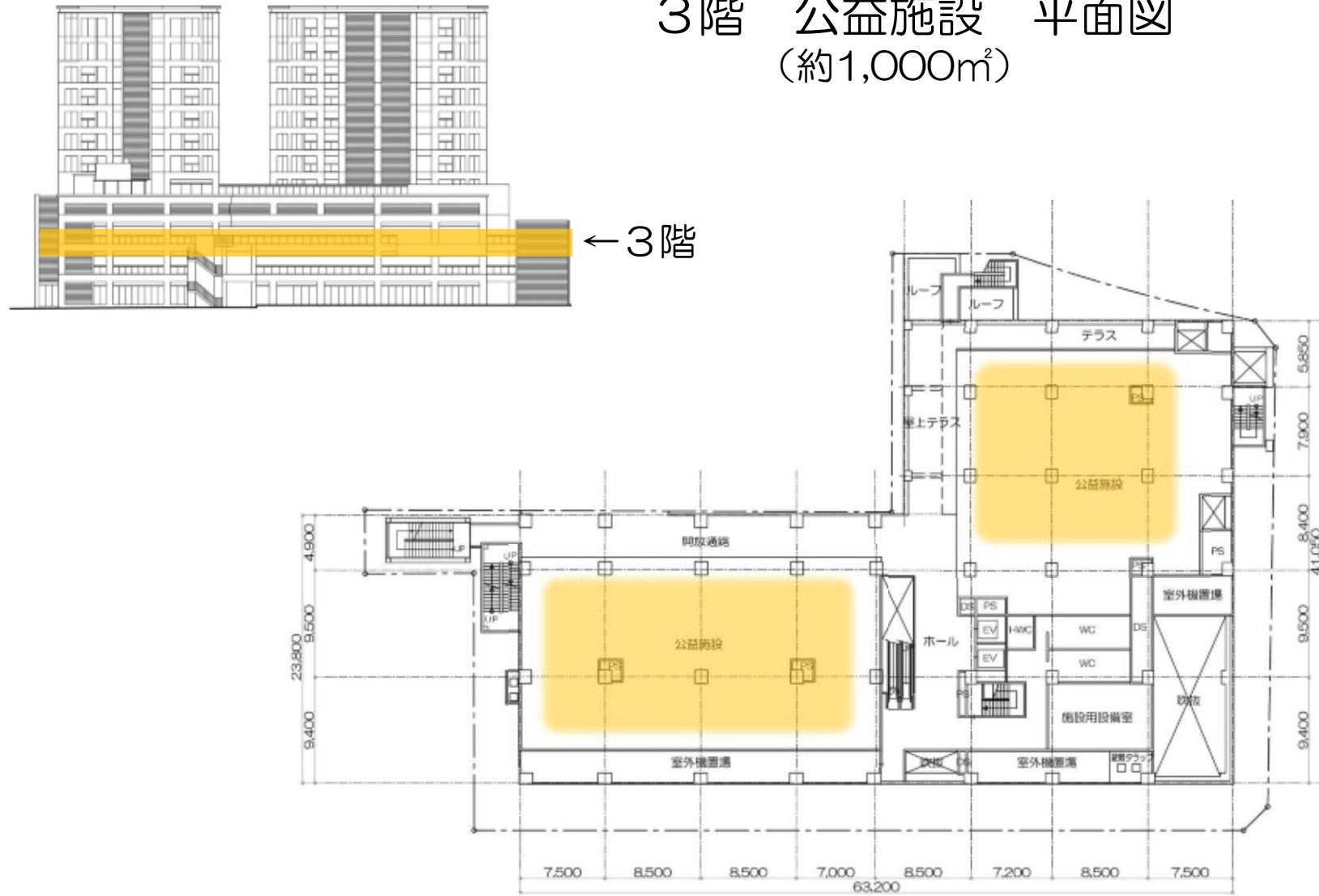
再開発ビル

2階 商業施設 平面図
(約1,000㎡)



再 開 発 ビ ル

3階 公益施設 平面図 (約1,000㎡)



再 開 発 ビ ル

3階 公益施設 平面図 (約1,000㎡)

